

## 株主優待のご案内

当社は、株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式の魅力を高め、当社株式を保有していただける株主の増加を図ることを目的として株主優待制度を実施しています。

## ● 株主優待の内容

対象株主	優待の内容
毎年基準日(3月31日)現在で当社株式1単元(1,000株)以上所有の株主様	5,000円相当の当社製品贈呈
	贈呈時期
	毎年7月予定

## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金基準日	3月31日
公告方法	日本経済新聞
株主名簿管理人	
および特別口座の	三菱UFJ信託銀行株式会社
口座管理機関	
同連絡先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話：0120-232-711(フリーダイヤル)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記載された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

WEBサイト  
のご案内

ニュース&トピックスのトップページから会社案内、IR情報、製品紹介のほか、キョクヨーグループの最新情報を掲載しています。また、皆様のご意見や質問をお受けする『お問い合わせ入力フォーム』も用意しておりますので、是非ご活用ください。


<http://www.kyokuyo.co.jp>
 


いつも となりに おいしいキョクヨー

## BUSINESS REPORT

第90期 報告書

2012年4月1日 ▶ 2013年3月31日



株式会社 極 洋

〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号





代表取締役会長CEO  
福井 清計

代表取締役社長  
多田 久樹

### 企 業 理 念

人間尊重を経営の基本に、  
健康で心豊かな生活と食文化に貢献し  
社会とともに成長することを目指します。

### ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第90期(2013年3月期)報告書をお届けいたします。

昨年4月、キョクヨーグループは中期経営計画「パワーアップ キョクヨー 2015」をスタートいたしました。

その初年度となるこの1年、本鮪の完全養殖に向けた合併会社極洋日配マリン(株)の設立、水産加工品及び惣菜品の製造・販売を営む(株)エイペックス・サンヨーへの資本参加合意、極洋厚生年金基金の代行返上決議など将来を見据えた施策を実施してまいりました。

引き続き、キョクヨーグループは「加工戦略」「グローバル戦略」を更に深化させ、グループ会社間の相乗効果を最大限発揮するべく「シナジー戦略」を加えた3つを基本方針とし、目標達成に向け邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからもかわらぬ多大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2013年6月

## 中期経営計画「パワーアップ キョクヨー 2015」の目標達成に向けて

### 当期(2013年3月期)の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、海外景気の減速や円高により輸出が大幅に減少したことから弱含みに推移しておりましたが、新政権発足後には強力な金融緩和や経済成長戦略に対する期待から、株価は上昇基調に転じ為替相場も円高修正が進みました。しかしながら不安定な欧州金融情勢や日中関係の悪化、先の見えないエネルギー政策など、今後の見通しは依然として不透明な状況となっております。

水産・食品業界におきましても、消費者の生活防衛意識による節約志向、デフレ経済の長期化による低価格志向が継続した結果、個人消費の盛り上がりには力不足の展開となりました。

このような状況のもとで当社グループは、中期経営計画『パワーアップ キョクヨー 2015』をスタートさせ、「キョクヨーグループの優位性を強化、拡充し、安心・安全で競争力のある商品の提供により、グループ企業価値の最大化を実現する」ことを基本目標に据えて、目標達成に向けて取り組んできました。

その結果、当社グループの売上高は1,780億円(前期比2.1%減)、営業利益23億円(前期比42.0%増)、経常利益22億円(前期比32.5%増)、当期純利益12億円(前期比200.0%増)となりました。

●各セグメントの状況は以下のとおりです。

**水産商事セグメント**では、チリ銀鮭の供給過剰による市況下落が他の魚種に波及し、上半期は水産物全般の市況が総じて低調に推移しましたが、下半期は年末需要もあり国内販売環境は好転しました。

このような状況のもとで、加工原料を積極的に取り扱い、定塩さけ製品やかに・えびの剥き身などの付加価値商品の拡販に努めたことにより、売上は前期を下回りましたが、利益は前期を上回りました。

**冷凍食品セグメント**における水産冷凍食品事業は、寿司種を中心とした生食用商品を大手回転すしチェーン向けに、また、さばを中心とした骨なし切身、煮魚、漬け魚などの加熱用商品を老健食や宅配向けに拡販を行いました。

調理冷凍食品事業は量販店やコンビニ向けに、白身魚などの水産フライ類やえび加工品及びかに風味かまぼこなどの拡販を図りました。

その結果、この部門の売上は前期を上回りましたが、販売競争の激化や生産コストの上昇により、利益は前期を下回りました。

**常温食品セグメント**では、生産設備の復旧が進んだ国内協力工場の水産缶詰、ツナ缶などの輸入缶詰や畜肉缶



詰、海産珍味類などを大手コンビニルートや量販店に向けて拡販するとともに、新規商材の開発に努めました。

その結果、売上は前期を上回りましたが、原料価格高騰により、利益は前期を下回りました。

**物流サービスセグメント**における冷蔵倉庫事業では、営業力強化と事業の効率化に努めました。冷蔵運搬船事業は、バナナ輸送の年間契約獲得を図るとともに、船隊編成のスリム化、コスト削減に努めました。その結果、売上は前期に届かなかったものの、損失額は大幅に縮小しました。

**鯉・鮪セグメント**における海外まき網事業は、漁獲量の増加や堅調な魚価のもと順調に推移いたしました。

本鮪の養殖事業は、「本鮪の極」の品質に対する評価も高く、水揚げも順調に進みました。また事業の安定化を目的として、本鮪をはじめとする水産物の種苗生産から親魚の養成を含めた養殖、販売までの一連の業務を行う合

弁会社、極洋日配マリン㈱を設立しました。

かつお・まぐろ加工及び販売事業は、国内外からの原料調達ルートの拡充により安定的な原料確保を図り拡販に努めましたが、利益面では原料価格の高止まりによる利益率の低下や販売競争激化の影響を受けました。

これらの結果、部門全体の売上高は前年同期並みとなり、利益は前期を上回りました。

### 次期(2014年3月期)の計画目標

次期におけるわが国経済は、新政権の経済対策が実体経済に波及しデフレの解消や景気の回復につながることに期待を寄せる一方、輸入物価の上昇や消費税増税など景気に水を差す要因もあり先行き不透明感が残ります。従って、消費者の生活防衛意識がさらに高まることも予想され、水産・食品業界を取り巻く環境は予断を許しません。

このような状況のもと、当社グループは中期経営計画

「パワーアップ キョクヨー 2015」の2年目に向けて、新たな気持ちで取り組んでまいります。

次期の連結業績は、売上高1,770億円、営業利益33億円、経常利益32億円、当期純利益18億円を見込んでおります。

●各部門の施策は次のとおりです。

**水産商事セグメント**におきましては、これまで培ってきた水産物についての豊富な経験と国内外サプライヤーとの持続的な関係強化により、質の高い水産物の安定的な供給を維持してまいります。

**冷凍食品セグメント**は、業務用にとどまらず市販商品分野への本格参入を目指して商品開発を進めるとともに、常温食品を含む市販向け新ブランドを立ち上げ、更なる事業フィールドの拡大を目指します。

**常温食品セグメント**では、国内外の加工拠点の確保に

努め、その上で、海外まき網事業にて漁獲した原料から一貫生産している鯉告詰や、大手量販店・コンビニのPBも含めた特色のある商品の拡販を進めてまいります。

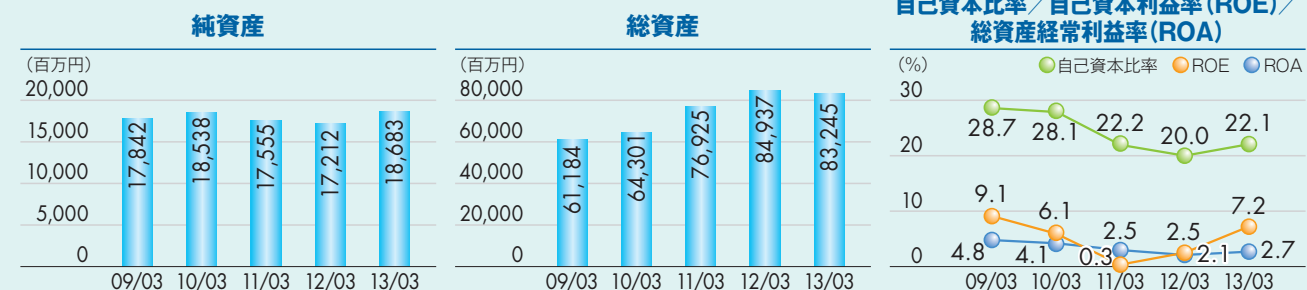
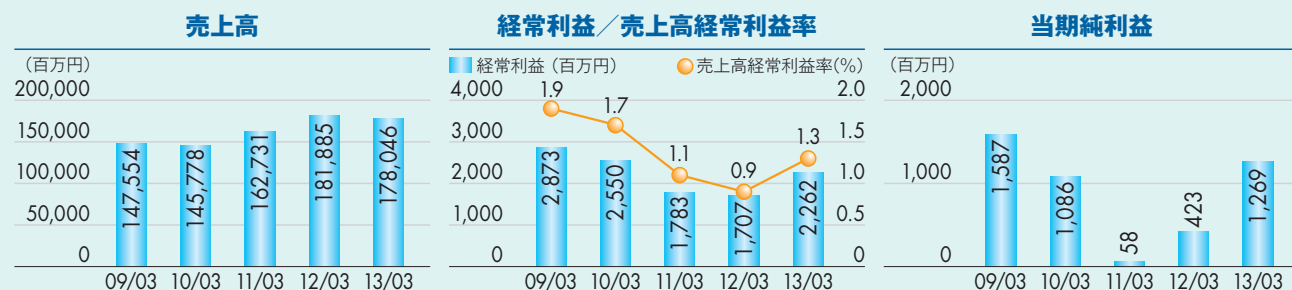
**物流サービスセグメント**における冷蔵倉庫事業は、引き続き、取引先のニーズに的確に応える体制を構築するとともに、一層の営業力強化を推進してまいります。

冷蔵運搬船事業は今後もなお一層の経費削減に努めるとともに、船隊のオペレーション効率を上げ、長期契約の獲得に向けて取り組んでまいります。

**鯉・鮪セグメント**において、海外まき網事業は、漁場の確保と操業効率の向上、高付加価値製品の生産に努めてまいります。

本鮪の養殖事業は順調に推移しているものの、天然種苗確保に対する規制は今後益々厳しくなると想定されますので、本鮪はじめ水産物の完全養殖に向けた研究を一層進め、ノウハウの蓄積に努めてまいります。

### ●主な連結財務指標



## NEWS

### 東京スカイツリー押上駅構内に広告看板設置

2012年5月の東京スカイツリー開業に合わせ、最寄り駅である押上駅に企業広告看板を設置いたしました。設置場所は、4路線が乗り入れている押上駅構内の2ヶ所です。大きな注目の集まるスポットで、多くの方々に当社のアピールをしていきます。



押上駅の広告看板

## TOPIC

### 極洋日配マリン(株)設立



左から日本配合飼料(株)山内社長、当社福井会長、多田社長

愛媛県南宇和郡愛南町に、本鮪完全養殖の事業化を目的とした合弁会社「極洋日配マリン(株)」を設立しました。キョクヨーマリンファーム(株)およびキョクヨーマリン愛媛(株)の養殖技術と、日本配合飼料(株)の孵化技術を融合させ、天然資源に頼らない稚魚の安定供給を目指します。

## TOPIC

### (株)エイペックス・サンヨーへの資本参加合意

「焼き魚」を主体とした水産加工品及び惣菜品の製造・販売を行っている(株)エイペックス・サンヨーに、当社が2013年4月1日付にて資本参加することで同社と合意いたしました。なお同社は、当社グループとしての緊密な関係を一層明確にするため、同日付にて(株)エイペックス・キョクヨーへと商号変更することとなりました。



かれの塩焼き

2012年 ▶ 4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2013年 ▶ 1月

2月

3月

## TOPIC

### キョクヨーマリン愛媛(株) まぐろ初出荷

2010年5月に設立されたキョクヨーマリン愛媛(株)は、事業開始後2年余りを経て、愛媛県愛南町の豊かな自然の中で育てられた養殖本鮪を「本鮪の極」ブランドにて2012年9月より本格出荷いたしました。これからも、美味しい鮪を安定供給していく使命感をもって、事業推進を図ります。



キョクヨーマリン愛媛初出荷式

## PR

### ファストフィッシュ商品に登録

水産庁が推進しているファストフィッシュ商品に、当社製品「スモークサーモンスライス」、「マグロタタキ」、「さばの味噌煮」、「さばのおかか煮」、「かれの煮付け」の5品が登録されグループ全体では38品となりました。ファストフィッシュとは、手軽・気軽に美味しく、水産物を食べることもおよびそれを可能にする商品や食べ方で、今後普及の可能性を有し、水産物の消費拡大に資するものとされています。

キョクヨーグループはこれからも生活者のライフスタイルに即したおいしい商品を提供し、魚食普及の推進に努めてまいります。



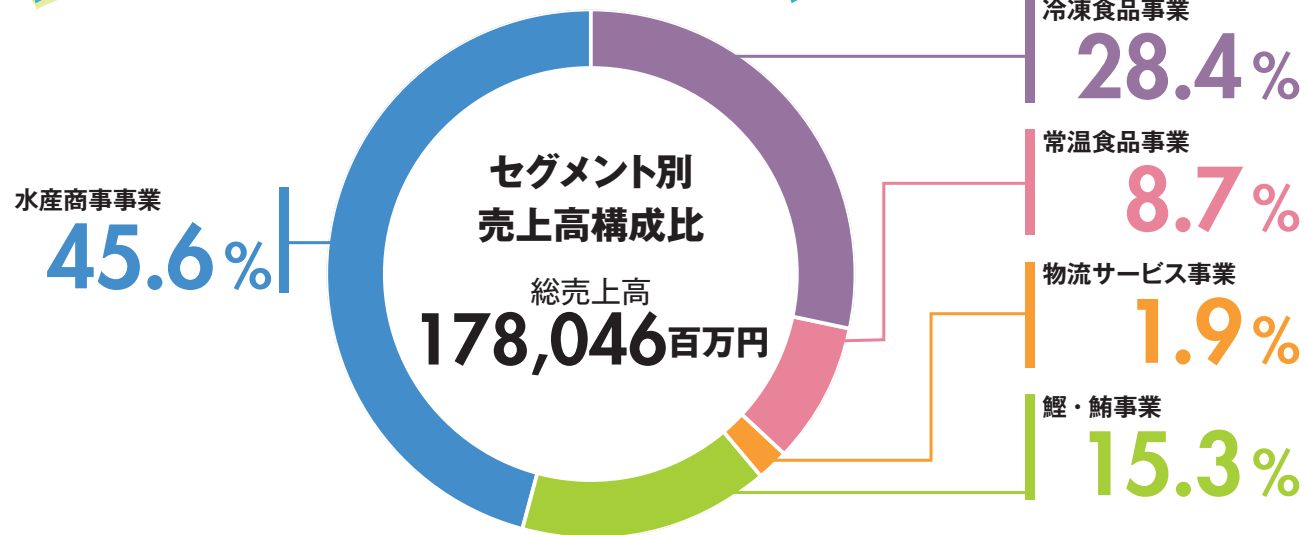
スモークサーモンスライス



さばの味噌煮



マグロタタキ



## 水産商事事業

- 売上高 81,247百万円
- 営業利益 1,594百万円

国内外の支社、営業所、駐在員事務所、関係会社の相互連携により、世界の海から質の高い水産物を安定的に調達するとともに、切身製品やかに、えびの剥き身製品などを提供しています。

また、日本国内で漁獲された魚介類の輸出や三国間貿易を積極的に行い、水産物の有効利用と資源循環型社会の実現に努めると同時に、魚食のグローバル化へも対応しています。



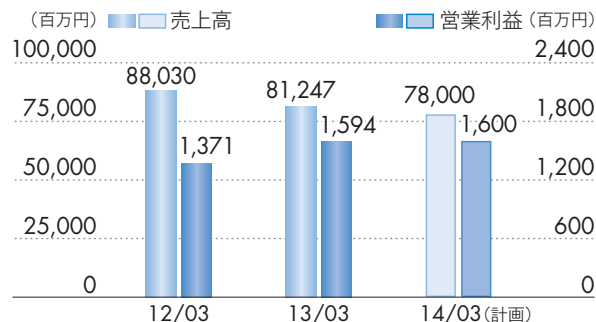
銀鮭フィレ 酒粕仕立て

### モザンビーク海老

モザンビーク海峡の自然豊かな海で育ち、甘みが強い海老として高い評価を得ています。



### PRODUCT INFORMATION



## 冷凍食品事業

- 売上高 50,566百万円
- 営業利益 314百万円

世界の海から厳選して調達した魚をはじめ、さまざまな食材を国内外の関係会社工場、協力工場で製造加工し、お客様へ提供しています。

水産冷凍食品事業では、寿司種を中心とした生食用商品を大手回転寿司チェーンなどへ販売、また骨なし切身、煮魚、漬け魚などの加熱用商品を老健食や宅配向けに販売しています。

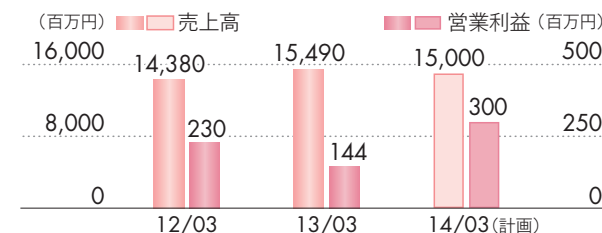
調理冷凍食品事業では、水産フライ類やかに風味かまぼこをはじめ、畜肉製品や冷凍野菜などを外食ルートや量販店惣菜売場向けに販売しています。



極洋食品(株)塩釜工場

## 常温食品事業

- 売上高 15,490百万円
- 営業利益 144百万円



### PRODUCT INFORMATION

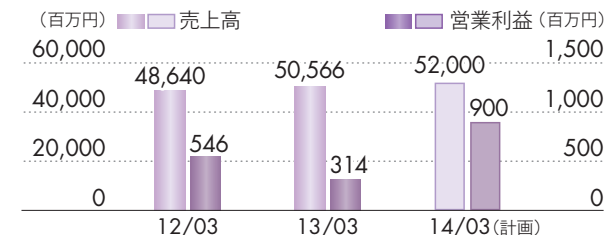
#### [水産冷凍食品事業] 寿司種生食用商品

寿司種はタイの合弁会社を生産拠点の中心としています。えび、うなぎ、いか、サーモンなどの新鮮な原料を使用し、そのまま流水・自然解凍するだけで本格的な寿司種になります。また、豊富な商品群は彩りもよく、様々な商品を組み合わせさせていただいて豪華な寿司盛を演出できます。



#### [調理冷凍食品事業] プチ包み えびチーズトマト・えびチーズバジル

女性中心の商品開発プロジェクトチームにより、女性の感性を重視して開発された商品です。えび、チーズ、バジルなどの女性に人気の食材を使用した、食べやすい一口タイプの餃子です。



### PRODUCT INFORMATION

#### さけの中骨水煮

東日本大震災による製造工場の被災により一時供給ができませんでしたが、デザインも一新して再発売しました。



かつお、さけ、さば、かになどの魚介缶詰やスイートコーンなどのリカルトパック製品、「グルコサミン」などの健康食品、関係会社(株)ジョッキの海産珍味類など、多岐にわたるラインナップで美味しさと健康をお届けしています。



健康食品

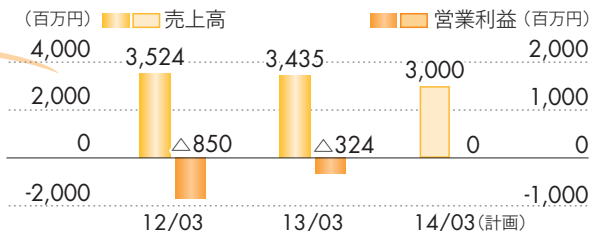


(株)ジョッキのおつまみシリーズ

## 物流サービス事業

● 売上高 **3,435** 百万円  
 ● 営業利益 **△324** 百万円

冷蔵倉庫事業と冷蔵運搬船事業を行っています。冷蔵倉庫事業は東京、大阪、福岡の3事業所において、取引先のニーズに的確に応える体制の構築に努めています。冷蔵運搬船事業では、バナナや野菜類などの輸送に携わっており、厳しい環境が続く中コストの削減に努めています。



キョクヨー秋津冷蔵(株)福岡事業所



冷蔵運搬船

## 鯉・鮪事業

● 売上高 **27,238** 百万円  
 ● 営業利益 **900** 百万円

漁撈・養殖から買付、加工、販売までの一貫した事業を展開しています。主な製品は寿司種、刺身、ネギトロなどです。関係会社が所有する海外まき網船は、良質のかつおを求めて順調に操業を続けています。まぐろ養殖事業では、水産資源保護・安定供給を目的に、キョクヨーマリンファーム(株)、キョクヨーマリン愛媛(株)において本鮪の養殖事業を行っています。また、2012年11月には当社と日本配合飼料(株)が本鮪の完全養殖に向けた合併会社を設立し、その取組を本格化した。



キョクヨーマリンファーム(株)

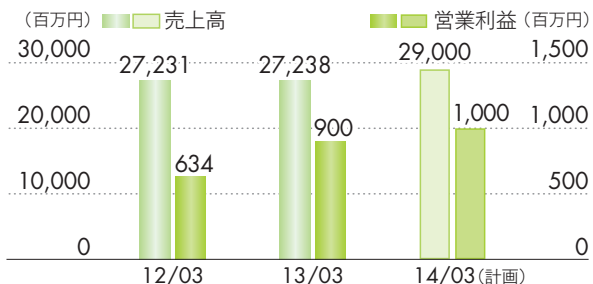


第7わかば丸

### PRODUCT INFORMATION

#### 本鮪の極

キョクヨーマリンファーム(株)、キョクヨーマリン愛媛(株)において極洋独自に構築した養殖技術を活かした養殖本鮪です。四国西南部の豊かな自然環境の中で手塩にかけて育てた自信作です。



### ● 社会・環境報告書2012発刊

2012年9月、「極洋グループ 社会・環境報告書 2012」を発刊しました。これは、2001年12月以来、当社グループが取り組んでいる環境保全活動の成果や社会的活動を盛り込んだもので、今回で6回目の発行です。同報告書は、当社グループが社内・外と対話する際に企業としての思いや実際の取り組みなどを伝え、広くコミュニケーションするためのツールとしての役割を担っています。



社会・環境報告書

今後とも、当社グループ環境経営の更なる充実を図り、社会から信頼と期待に応えられるよう努力を続けてまいります。

当報告書の内容は当社ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.kyokuyo.co.jp/environment/>

### ● 『日本さかな検定』(愛称:ととけん)に協賛



2012年7月に全国8府県で実施された「第3回 日本さかな検定」(主催:(社)日本さかな検定協会)に協賛しました。

これは、検定という形で魚への関心や知識を深めてもらうことで、日本の伝統ある魚食文化の復活・継承を目的としています。

水産物を中心とした総合食品会社である当社も同趣旨に賛同し、2010年の第1回から協賛を実施しています。

### ● ISO14001「10年継続賞」受賞

2012年12月、ISO認証機関である株式会社日本環境認証機構より、ISO14001「10年継続賞」を受賞しました。当社の環境活動は2002年に始まり、約10年間で当社グループ内29拠点においてISO14001認証を取得しています。現在も、新しくグループに加わった各社を対象に認証範囲拡大の準備を進めています。今後ともグループ全従業員で環境活動を推進してまいります。



10年継続賞トロフィー

### ● MSC認証の取得を拡大

当社グループでは、将来にわたって海洋資源や地球環境に配慮した事業活動を続けていくために、2006年より国内外の子会社、協力工場を含めたMSC認証の取得を始め、拡大してきました。2012年に、当社製品「かに風味かまぼこ(オーシャンキングの極)」は、MSC認証原料から加工・製造・販売する工程をもって認証を取得いたしました。



オーシャンキングの極

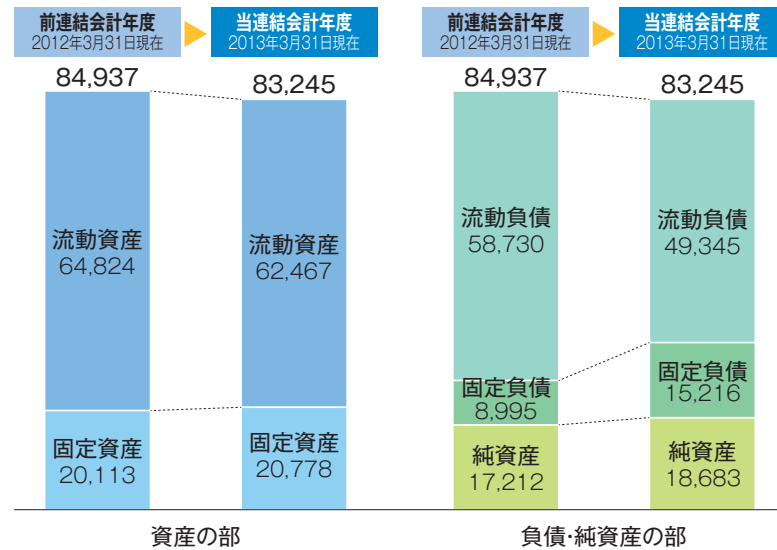
今後とも積極的にMSC認証の取得を進め、地球環境に優しい製品提供に努めてまいります。

※MSC認証とは、持続可能で適切に管理された漁業や流通・加工業者を認証する制度です。



連結貸借対照表

(単位：百万円)



連結貸借対照表のポイント

流動資産

●受取手形・売掛金、たな卸資産が減少したことなどにより、前期比23億円減少しました。

固定資産

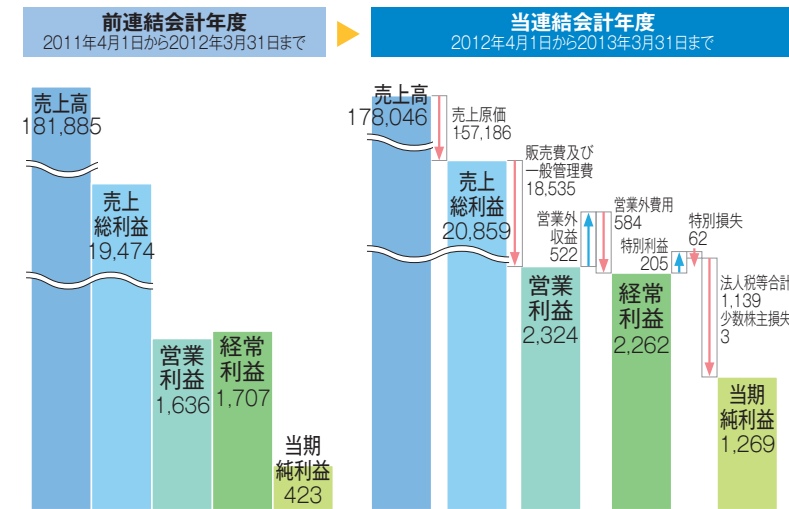
●有形固定資産、無形固定資産はともに減価償却により減少し、投資有価証券は評価差額などの増加により、前期比6億円増加しました。

純資産

●当期純利益とその他の有価証券評価差額金などの増加により、前期比14億円増加しました。

連結損益計算書

(単位：百万円)



連結損益計算書のポイント

売上高 (前期比38億円減少)

●水産商事事業における上半期落ち込みを下半期の回復で取り戻すまでに至らず、前期比2.1%減となりました。

営業利益 (前期比6億円増加)

●海外まき網事業の魚価が高値で推移したこと、冷蔵運搬船事業の損失を最小限にとどめたことなどから、前期比42.0%増となりました。  
●営業利益率は1.3%と前期(0.9%)を上回りました。

経常利益 (前期比5億円増加)

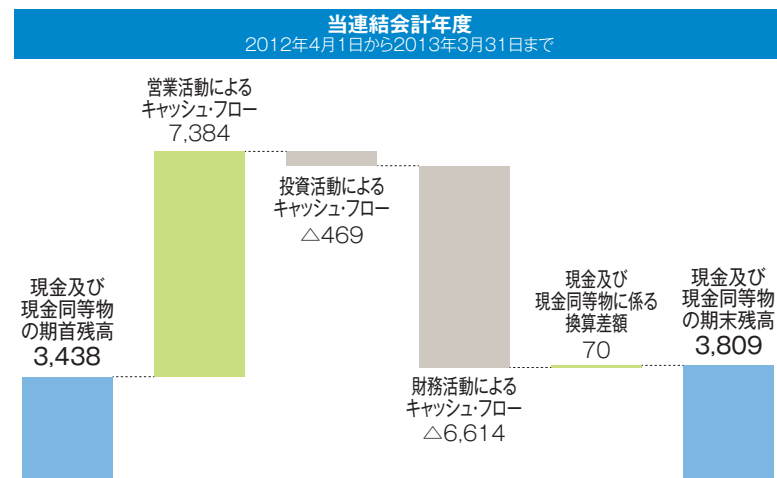
●前期比32.5%増となりました。  
●経常利益率は1.3%と前期(0.9%)を上回りました。

当期純利益 (前期比8億円増加)

●前期比200.0%増となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるキャッシュ・フロー

●売上債権、たな卸資産の減少などにより、73億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

●固定資産の取得などにより、4億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

●営業活動による収入を原資として、短期借入金の減少などにより、66億円の支出となりました。

連結株主資本等変動計算書

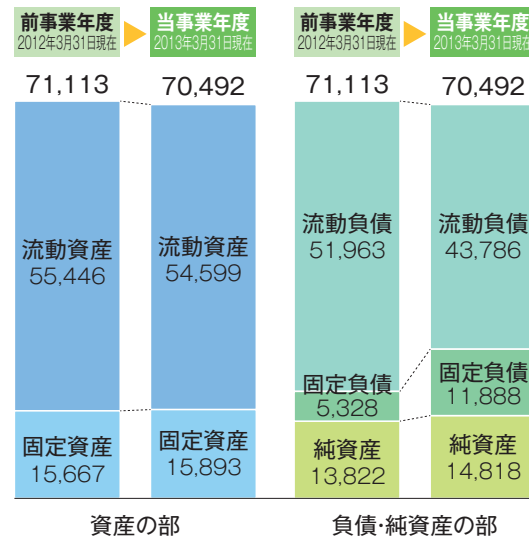
当連結会計年度(2012年4月1日から2013年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	為 替 換 算 調 整 勘 定	その 他 の 包 括 利 益 累 計 額 合 計		
当期首残高	5,664	749	12,017	△747	17,683	△669	61	△109	△717	246	17,212
当期変動額											
剰余金の配当			△525		△525						△525
当期純利益			1,269		1,269						1,269
自己株式の取得				△0	△0						△0
持分法適用範囲の変動 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			85		85						85
当期変動額合計	—	—	829	△0	829	556	80	5	642	△0	642
当期末残高	5,664	749	12,846	△747	18,512	△113	142	△104	△75	245	18,683

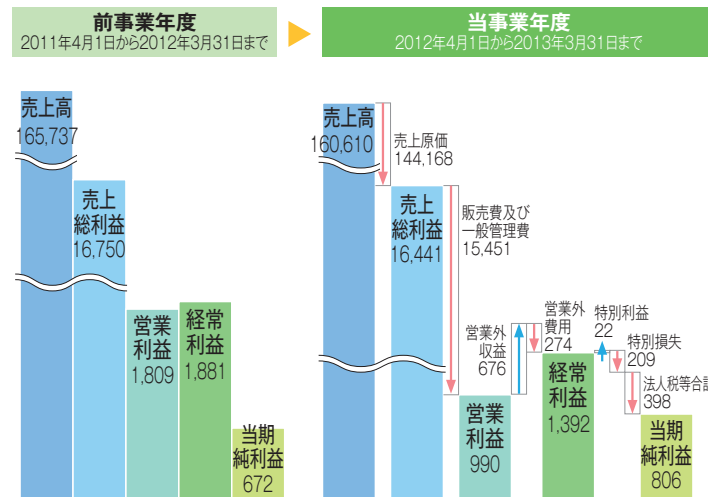
貸借対照表

(単位：百万円)



損益計算書

(単位：百万円)



株主資本等変動計算書

当事業年度(2012年4月1日から2013年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等				純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己 株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益		評価・換算 差額等合計
		資本準備金	その他資 本剰余金	資本剰余 金合計	利益準備金	その他利益剰余 金	利益剰余 金合計	繰越利益剰余 金						
当期首残高	5,664	742	7	749	673	1,560	6,656	8,889	△747	14,556	△795	61	△733	13,822
当期変動額														
剰余金の配当							△525	△525		△525				△525
当期純利益							806	806		806				806
自己株式の取得									△0	△0				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)											632	80	713	713
当期変動額合計	—	—	—	—	—	—	281	281	△0	281	632	80	713	995
当期末残高	5,664	742	7	749	673	1,560	6,937	9,171	△747	14,837	△162	142	△19	14,818

会社概要

2013年3月31日現在

社名 株式会社 極洋  
 英文社名 KYOKUYO CO., LTD.  
 本社所在地 〒107-0052 東京都港区赤坂三丁目3番5号  
 設立 1937年9月3日  
 資本金 56億6千4百万円  
 主要な事業内容 水産物の輸出入・国内買付販売、加工食品及び冷凍食品の製造販売  
 従業員数 2,397名(連結) 550名(個別)  
 連結対象会社数 26社  
 役員  
 代表取締役会長CEO 福井清計  
 代表取締役社長 多田久樹  
 専務取締役 門田憲一  
 専務取締役 今井賢司  
 常務取締役 須藤時廣  
 常務取締役 村上吉男  
 取締役 保坂正美  
 取締役 松行健一  
 取締役 雲津雅行  
 取締役 井上誠  
 常勤監査役 細川高稔  
 常勤監査役 中山昌生  
 監査役 荒砥誠明  
 監査役 高橋義明

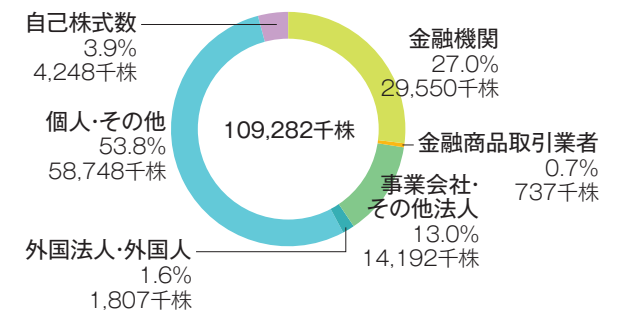
株式の概況

2013年3月31日現在

発行可能株式総数 437,000,000株  
 発行済株式の総数 109,282,837株  
 株主数 27,784名  
 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	6,261	5.72
株式会社りそな銀行	5,234	4.78
三井住友海上火災保険株式会社	4,787	4.38
農林中央金庫	4,450	4.07
東洋製罐株式会社	3,150	2.88
東京海上日動火災保険株式会社	2,245	2.05
カッパ・クリエイティブホールディングス株式会社	2,100	1.92
極洋秋津会	1,764	1.61
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,455	1.33
中央魚類株式会社	1,399	1.28

所有者別株式数分布状況



株価及び出来高の推移

